

卒業生の皆さんへ



沖永良部高等学校広報誌



2月号

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。快活な皆さんと授業や学校行事を楽しめたこと、そして一緒に受験や就職に挑めたことに感謝しています。この3年間、つらかった時期もあったと思います。特に部活動や進路決定の際には、自分の力を限界まで試されて、その限界も超えなければならなく、本当にきつかったことでしょ。それでも一人ひとりが頑張る姿が、別の誰かの支えになって、皆さん全員で支え合って頑張っていました。そのありようが本当に、団結力のある皆さんらしかったです。限界まで苦しんだ経験は、きっと将来、厳しさに立ち向かう勇気になります。皆さんが持っている明るさと優しさは、新しい仲間との連帯に繋がると思っています。これまで仲間と一丸となって学んだことが、皆さんのこれからの礎になります。最後に自分がモットーとする論語の一節を紹介いたします。

弟子が孔子に尋ねました。
 「一言で生涯行う価値のある大切なことがあるでしょうか？」孔子が答えます。
 「其れ恕(じよ)か。己の欲せざるころ、人に施すこと勿(なか)れ」

人生において人として大切なことは山ほどあります。その中で孔子は「其れ恕か」と言い切ったのです。「恕」とは思いやり、後に続いて「己の欲せざるころ・・・」と孔子がわざわざ続けたところに意味があるのでしょうか。

例えば、仕事ができるリーダーは、知らず知らずのうちに相手を言い負かしてしまったり、自分の意見を先んじて言うことで相手の発言を制してしまっていたり・・・だからと言って、相手がそこに納得しているかどうかは別物です。

「恕」とは単に思いやりと言うよりもっと深い、「自分の心と同じくらい人の心を大切にすること」と孔子は言っていたのかも知れません。

大切なことは相手を思いやる心。自分と同じくらいに相手を大切に思う心。

そんなリーダーに皆さんには、なってほしいと思います。

3学年主任 野崎進作

1年学習発表会



13日、1学年の学習発表会があり、これまで授業の「せりよさ」で研究してきた内容のプレゼンテーションが行われました。各グループごとにプロジェクターを使ったり、ポスターを作成したりして、お互いの調べたこと、考えたことを発表しました。生徒からは「方言が絶滅危機言語になっていることや、沖永良部の人口の減り方について知ることができ、とても驚いた。」と感想がありました。

ロードレース大会

2月7日、ロードレース大会が開催されました。男子11km、女子5.5kmの距離を元気に走り切ってくれました。多くの保護者や地域の方々の声援もあり、力を出し切ることができていたようでした。タイムは以下の通りです。

- 男子
 1位 山下 志恩(1-2)40"11
 2位 中村 眞沙(1-1)41"48
 3位 朝野 秀音(1-1)41"57
- 女子
 1位 前 あやめ (1-1)24"27
 2位 石上 心乃 (1-1)24"46
 3位 大山 菜奈花(2-1)25"40



性教育講演会

6日、沖高教育振興事業の一環で性教育講演会が行われました。講師として、助産師・思春期保健相談士の内田美智子氏をお招きして「いのちをいただいて、つないでいくこと」～いずれ一人で生きていく君たちへ～という演題で講話を頂きました。

以下生徒の感想「家事をできないまま卒業できないと感じた。これから、親への感謝を忘れず、一人暮らしができるように普段の生活を変えていこうと思う。」「母の仕事の手伝いをしていたつもりだったが、本当に役に立っていたのか、もう一度考え直します。」



- 1日 英検二次 (B日程)
- 2日 第70回卒業式
- 5日 一般入学者選抜
- 6日 一般入学者選抜
- 8日 中期日程試験開始 (国公立大学)
- 12日 後期日程試験開始 (国公立大学)
- 16日 45分授業
- 17日 交通安全の日
- 18日 二次出願開始～19日
- 19日 クラスマッチ
- 23日 第二次入学者選抜
- 24日 二次合格者発表
合格者集合
- 25日 終業式
- 26日 離任式
学年末休業～3/31

